

平成 20 年 10 月 20 日

各 位

日本セーフティー株式会社
代表取締役 岩本 祐司

平成 20 年 12 月期 第 3 四半期の当社業績について

当社は毎期の決算につきましては、決算月終了後、約 4 ヶ月の期間をもって積極的に情報開示をしておりますが、近況では家賃保証会社が連鎖的に経営破綻したことによる保証業界全体の信用の低下及び混乱が生じているものと思われまます。当社としましては取引先様の信用の確保と不安の解消を第一に考え、期中ではありますが当社の今期についての第 3 四半期の業績(経営成績、財政状態)を開示することに決定いたしました。

尚、当期および通期につきましても過去最高の増収・増益を達成できるよう業務に邁進してまいります。

平成 20 年 12 月期 第 3 四半期の業績(平成 20 年 1 月 1 日～9 月 30 日)

1. 経営成績

(単位:千円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
平成 20 年 12 月期第 3 四半期	1,907,563	326,984	255,109	196,754
平成 19 年 12 月期第 3 四半期	1,677,324	259,174	213,890	154,722
平成 19 年 12 月期	2,242,109	335,611	270,325	193,750

2. 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
平成 20 年 12 月期第 3 四半期	2,031,897	1,610,585	79.3%
平成 19 年 12 月期第 3 四半期	1,730,427	1,374,804	79.5%
平成 19 年 12 月期	1,826,449	1,413,831	77.4%

経営成績につきましては、9 月末時点において売上高が対前年同四半期 113.7%、営業利益は同 126.2%、経常利益は同 119.3%となることから、通期の見通しとしましても増収・増益を達成できる見込みであります。

財政状態につきましては、総資産及び純資産につきましては増加しており、自己資本比率に関しましては約 80%であることから高い水準を維持しております。

資金面につきましては、本業の営業活動による内部留保により事業資金を調達し、営業上発生する自然負債を除けば、現在の経済環境の変化が当社の経営に直接的な影響を及ぼすことはございません。

営業面につきましては、滞納保証に特化した長年の経験において、存在するリスクを熟知しており、毎年高い水準で利益計上してまいりました実績がございます。これからも業務に対する理解をさらに深め、ノウハウを蓄積し、コスト抑制の努力を続けてまいります。

以上